

2013

あ い ち
食 育
い き い き
レ ポ ー ト (案)

平成25年6月
愛知県食育推進会議

目次

「あいち食育いきいきプラン2015」について	1
------------------------------	---

特集

若い世代に向けた情報発信や若い世代との連携による食育推進の事例紹介

1 あいち食育研究所（食育らぼ） 愛知県から日本を健康にせよ！ [愛知県]	3
2 若手職員によるバランスランチ新メニュー考案 [大学生協東海事業連合会]	5
3 産学官連携事業「朝食のすすめ」 [安城市健康づくり食生活改善協議会]	7

県内の取組事例

1 食を通じて健康な体をつくるために	9
2 食を通じて豊かな心を育むために	39
3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために	89
4 食育を支える取組	114
まとめ	135

マークの説明



は、健康な体



は、環境に優しい暮らし



は、豊かな心



は、食育を支える取組

を表現しています。

県内の取組事例で紹介した取組一覧

1 食を通じて健康な体をつくるために

(1) バランスのとれた規則正しい食生活の実践

◆ バランス良くたべることの大切さを食育劇で伝えます [愛知県]	9
◆ 平成 24 年度学校給食教室 [公益財団法人 愛知県学校給食会]	10
◆ 食育講演会の開催 [愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会]	11
◆ 学校の給食はおいしいかな?! [半田市立宮池幼稚園]	12
◆ 食育を親子で学ぶ「ぱくぱく教室」[豊田市立童子山こども園]	13
◆ もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト及び食育講演会 [社団法人 愛知県歯科医師会]	14
◆ 食育出前講座「食まるファイブ エプロンシアター」[東海市健康づくり食生活改善協議会]	15
◆ シニアの料理教室 [尾張旭市健康づくり食生活改善協議会]	16
◆ パクパク食育教室 [一宮市]	17
◆ 瀬戸市子ども食育シンポジウム [瀬戸市]	18
◆ 親子で元気まる [尾張旭市]	19
◆ 学校給食試食会 [尾張旭市]	20
◆ 清須市立古城小学校 食育の伝え方 [清須市]	21
◆ 食まるファイブを使った食育活動 「好き嫌いをせずなんでも食べよう」[津島市]	22
◆ 男子! 自立クッキング [愛西市]	23
◆ 小学校における食に関する指導「朝食に野菜を取り入れよう」[弥富市]	24
◆ 大好評! 男性の料理教室 [美浜町]	25
◆ 食育の日「たべまるのうた」発表会の開催 [豊田市]	26
◆ 親子健康講座「わくわく親子クッキング」[豊橋市]	27

(2) 生活習慣病や過度な痩身等の予防

◆ 親子教室「おやつづくりで栄養指導」[愛知県国公立幼稚園長会]	28
◆ 子どもの肥満予防等の推進 [犬山市立犬山幼稚園]	29
◆ 虫歯や歯肉炎を予防する環境づくりのために [半田市立花園幼稚園]	30

◆ 歯みがき指導 [名古屋市立神の倉幼稚園]	31
◆ よい子の歯みがき運動・E 6 保護育成事業 [碧南市立棚尾幼稚園]	32
◆ 企業と連携 いい歯の健康相談 [社団法人 愛知県歯科医師会]	33
◆ やせ願望の落とし穴にストップ!」 - 食べて美しく...実践編 - 開催 [公益社団法人 愛知県栄養士会]	34
◆ 健康応援情報提供事業 (食生活応援メニューの提供) [東海市]	35
◆ 飲食店と連携したメニューの提供と情報提供 [東海市]	36
(3) 食の安全に関する信頼の構築	
◆ 夏休みに親子で工場見学 「見て! 聞いて!!安全でおいしい飲みものができるまで」の開催 [愛知県]	37
◆ 大学教授等による食育事業講演会 [尾張旭市]	38

2 食を通じて豊かな心を育むために

(1) 食を楽しむゆとりの確保	
◆ 「今日の給食、なあに?」[清須市立西枇杷島第 1 幼稚園]	39
◆ 園児と調理員さんの交流が盛んです [東海市立東山保育園]	40
◆ 家族や仲間と食べる楽しさ宣伝部 [名古屋市内山保育園]	41
◆ すこやかクッキング ~ 3 世代で挑戦 ~ [瀬戸市健康づくり食生活改善協議会]	42
◆ コープひろば「食生活」[生活協同組合コープあいち]	43
◆ たべる*たいせつキッズクラブ [生活協同組合コープあいち]	44
◆ 「家族とつくりよう! 元気が出るヘルシー朝ごはん」メニューを募集 [尾張旭市]	45
◆ 「家族でつくって食べよう! 元気もりもり朝ごはん」メニューを ランチとして提供 [尾張旭市]	46
◆ 野菜スープを作りました [尾張旭市]	47
◆ 食の専門家 (給食委託業者等) による食育事業講演会 [尾張旭市]	48
◆ 親子料理教室 (夏休み親子給食作り体験) [尾張旭市]	49
◆ 就学前児童の給食センター見学会 [尾張旭市]	50

◇ 給食献立募集 [尾張旭市]	51
(2) 体験や交流を通じた食の理解促進	
◇ 「魚食の伝道師」を小学校に派遣 [愛知県]	52
◇ 子ども達の稚魚放流体験 [愛知県]	53
◇ 平成 24 年度学校給食調理コンクール [公益財団法人 愛知県学校給食会]	54
◇ 地域の人々と触れ合いながら収穫 [名古屋市立桶狭間幼稚園]	55
◇ みんなで餅つき [名古屋市立春田幼稚園]	56
◇ 親子うどん教室開催「ふれあいの中での食育」[知多市立東部幼稚園]	57
◇ 「おいもパーティーをしました。ほらせてくれてありがとう」[名古屋市立二城幼稚園] ...	58
◇ みんなでおやつ作り『お芋で茶きん絞り』[名古屋市立報徳幼稚園]	59
◇ もしもにそなえて、お父さんと非常食を作ってみよう！ [公益社団法人 愛知県栄養士会] ·	60
◇ 知っ得！なっ得！Summer festa in こざかい児童館 [生活協同組合コープあいち]	61
◇ 消費者と生産者の交流が貴重な食育の場となっています [生活協同組合コープあいち] ...	62
◇ 親子食育連続企画「くいしんぼひろば」 [生活協同組合コープあいち]	63
◇ 愛知県産加工用トマトの収穫体験、ケチャップづくり [生活協同組合コープあいち]	64
◇ P T A が「お米守り隊」結成 [瀬戸市]	65
◇ 親子で学ぶ農業塾 [瀬戸市]	66
◇ 食育体験教室 [春日井市]	67
◇ 親子料理教室「魚を食べよう」[江南市]	68
◇ 小学校家庭科調理実習サポート事業 [小牧市]	69
◇ 今年はとれたよ！大きなお芋！ [岩倉市北部保育園]	70
◇ 給食センター施設見学と給食試食会 [長久手市]	71
◇ 児童体験農業 [半田市]	72
◇ こども料理コンクール ビストロおぶちゃん [大府市]	73
◇ 『最強のしょくまるカレー』コンテストを開催 [刈谷市]	74
◇ だいでプロジェクト [特定非営利活動法人 だいできっず]	75

◇ さつまいもの苗さし会、収穫体験 [みよし市]	76
(3) 食文化や食事作法等の理解と継承	
◇ 少年水産教室 [愛知県]	77
◇ 給食で年中行事を楽しもう [刈谷市立小垣江幼稚園]	78
◇ 箸の持ち方わかったよ！おうちの人と一緒に給食を食べよう！ [阿久比町立ほくぶ幼稚園]	79
◇ 親子給食会 [刈谷市立井ヶ谷幼稚園]	80
◇ 手作り弁当で 箸の使い方を一人一人丁寧に [名古屋市立おりべ幼稚園]	81
◇ 地域の自然の中で [新城市立八名幼稚園]	82
◇ 愛知の郷土料理や地場産の野菜を使った給食 おいしいね！ [津島市立津島幼稚園]	83
◇ 栄養教諭・学校栄養職員を対象とした食農教育研修会 [愛知県農業協同組合中央会]	84
◇ ふれあい給食「愛知を食べる学校給食の日」 [尾張旭市]	85
◇ 学校給食への地場産野菜の供給 [長久手市、長久手給食食材生産会]	86
◇ 愛知を食べる学校給食の日 [長久手市]	87
◇ 学校給食への地場産物の活用 [長久手市]	88

3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために

(1) 食生活における「もったいない」意識の浸透と実践

◇ 「この野菜はなあに？」クイズで野菜が大好きに！ [安城市立さくの幼稚園]	89
◇ 「残さずたべよう もったいない！」 [岡崎市立矢作幼稚園]	90
◇ レストランでお食事 [常滑市立常滑幼稚園]	91

(2) 農林水産業への理解と地産地消の一層の促進

◇ 県産品に込めた生産者の思いを消費者に伝える取組を支援しました [愛知県]	92
◇ 愛知産ジビエの消費拡大に向けて [愛知県]	93
◇ 愛知県茶会の開催 [愛知県]	94
◇ 漬物創作料理の試食を行いました！ [愛知県]	95
◇ 守口大根（レプリカ）と記念撮影を行いました！ [(公社) 愛知県漬物協会]	96
◇ 生産者によるあいち産いちじくの消費宣伝活動 [愛知県果樹振興会 始め3団体]	97

◆ 生産者によるあいち産かんきつの消費宣伝活動 [愛知県、愛知県果樹振興会]	98
◆ あいちの魚ジャンボカルタ大会 [愛知県]	99
◆ 水産試験場公開デー [愛知県]	100
◆ 「あいちの四季の魚」啓発普及活動 [愛知県]	101
◆ 漁業者による魚食普及活動 [愛知県漁業士連絡協議会 他]	102
◆ 「あいちの農林水産フェア」で地産地消・食育を PR [あいちの農林水産フェア実行委員会]	103
◆ 愛知県知事の名刺を使った農林水産物の PR 牛乳編 [愛知県酪農農業協同組合]	104
◆ 親子で作る米粉ピザ教室 [尾張旭市]	105
◆ 豊明をおいしく食べよう [豊明市]	106
◆ 小学生料理教室 [長久手市]	107
◆ 生産者が教える地元農産物を使った料理教室 [知多市]	108
◆ 地元農畜産物を利用した加工品講座 [南知多町]	109
◆ イチジク料理講習会 [碧南市地産地消推進協議会]	110
◆ あさりを使ったアイデア料理コンテストを開催 [西尾市]	111
◆ 食育推進紙芝居の読み聞かせ [新城市食育推進実行委員会]	112
(3) 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	
◆ 自給飼料活用畜産物の普及拡大に向けて [愛知県]	113

4 食育を支える取組

(1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実

◆ 食育推進ボランティア研修会の開催 [愛知県]	114
◆ 海部地域食育推進ボランティア交流会を開催 [愛知県]	115
◆ あいち食育いきいき検定 2012 を実施しました [愛知県]	116
◆ 食育教材「あいちの食育マップ」制作 [公益財団法人 愛知県学校給食会]	117
◆ みんなで作って食べるとおいしいね	
「お母さんいつもありがとう」 [半田市立半田幼稚園]	118
◆ 農業経営士が食による心と体のケアを学ぶ [愛知県農業経営士協会]	119

◆ 輝きネット・あいちの技人認定式を開催 [農村輝きネット・あいち]	120
◆ 農とくらしの研究発表大会 2013 の開催 [農村輝きネット・あいち]	121
◆ わかりやすい健康情報に関する学習会 [愛知消費者協会]	122
◆ 竹下和男氏講演会 “ 弁当の日 ” が家族を救う！ [生活協同組合コープあいち]	123
◆ 市場まつり等のイベントを活用した食育の普及啓発 [名古屋市]	124
 (2) 関係者の役割分担とネットワークの充実	
◆ 食育番組制作「レッツ食育」[愛知県]	125
◆ 食育推進ボランティアが展示物作成・イベントで展示し食育啓発 [愛知県]	126
◆ 親子バター作り教室 [愛知県酪農農業協同組合]	127
◆ 親子農業塾で食育活動を実施 [あいち尾東農業協同組合]	128
◆ 事業者・団体との食育推進協働事業 [岡崎市]	129
◆ 農家さんとコープあいちが食育企画で連携 [知立市]	130
◆ 美術館・図書館・レストランが食育で連携 [高浜市]	131
◆ 食農体験講座「*おとわde米体験*」[豊川市]	132
 (3) いいともあいち運動の推進	
◆ いいともあいち運動の認知度の向上に向けた取組 [愛知県]	133
◆ 平成 24 年度「農商工連携ビジネスフェア」の開催 [愛知県]	134



「あいち食育いきいきプラン 2015」について



「あいち食育いきいきプラン 2015」は、食育基本法に基づき、愛知県食育推進会議が第1次食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン」の基本理念や成果を継承しつつ、更に食育を推進するための、次のステップとして平成23年5月に作成した愛知県の第2次食育推進計画です。

1 目指すべき姿と基本コンセプト

このプランでは、前プランからの本県の特色である「体」、「心」、「環境」に着目した食育を継承することにより、健康で活力ある社会の実現を目指します。

規則正しい食生活の実践などにより「健康な体をつくる」ことはもとより、感謝の気持ちや食を大切に作る心といった「豊かな心を育む」こと、食べ残しや食品の廃棄量を減らすなどの「環境に優しい暮らしを築く」ことを基本としています。

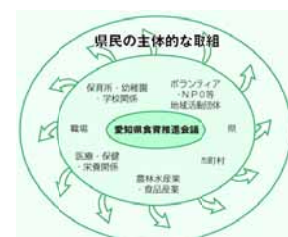
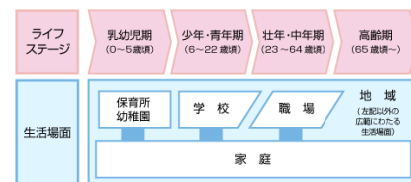
前プランの様々な取組により高まった県民の関心をさらに高めるとともに、次のステップとして、「啓発から実践へ」を基本コンセプトとし、県民一人ひとりの食育の実践を関係者が支援して、県民が主体的に実践する取組へとつなげていきます。



2 取組の特徴

あらゆる世代の県民が生涯にわたって健全な食生活を送れるためには、生涯を通じた中断のない食育が重要です。このため、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目ない食育を進めます。

また、食育に関する取組の実効性を高めるため、様々な関係者が、その役割と特性を生かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開します。



3 県や関係団体等の取組

食育の推進について、県や関係団体等は、あいちの食育が目指す3つの方向に則して、ライフステージと生活場面に応じ、それぞれの役割と特性を生かしつつ連携・協力して、継続的に情報提供や実践促進活動を行っていきます。

以下では、取組を働きかける生活場면을下記のとおりに表示

保幼	保育所・幼稚園	職場	勤務先
学校	小学校～大学	地域	その他の場所

取組の体系

取組の方向		取組項目	保幼	学校	職場	地域	レポート報告数
食を通じて健康な体をつくるために	1 バランスのとれた規則正しい食生活の実践	ア 乳幼児期における基本的な食習慣の確立					20
		イ 学校における小中学生への食に関する指導の充実					
		ウ 小中学生の食育のための家庭への支援					
		エ 高校における食育の充実					
		オ 青年期以降における健全な食生活の実践の支援					
		カ 「妊産婦のための食生活指針」の推進					
		キ 高齢期における食による健康維持の推進					
	2 生活習慣病や過度な痩身等の予防	ア 子どもの肥満予防等の推進					9
		イ 歯の大切さについて子どもへの啓発活動の推進					
ウ 思春期からの過度な痩身の予防対策							
エ 職場での健康診断等に基づく食生活改善の推進							
3 食の安全に関する信頼の構築	ア 食品表示の適正化や栄養成分表示の推進					2	
	イ 食の安全に関する情報提供や意見交換						
	ウ 安全に関する自主管理と情報開示の促進						
	エ 食品と医薬品との相互作用に対する普及啓発						
食を通じて豊かな心を育むために	1 食を楽しむゆとりの確保	ア 給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成				13	
		イ “おうちでごはんの日”の実践促進					
		ウ 高齢者の孤食対策等					
	2 体験や交流を通じた食の理解促進	ア 乳幼児期における食とのふれあい機会の確保				25	
		イ 少年期における食に関する体験等の充実					
		ウ 幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供					
	3 食文化や食事作法等の理解と継承	ア 子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解				12	
		イ 給食における地場産物や郷土料理等の導入促進					
		ウ 伝統料理、郷土料理等の提供促進と継承					
食暮らしを通して環境に優しい	1 食生活における「もったいない」意識の浸透と実践	ア 子どもに対する環境負荷軽減の学習				3	
		イ 環境に配慮した食生活の実践					
		ウ 外食時における食べ残し減量策の促進					
	2 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進	ア 生物多様性の保全など農林水産業の役割への理解促進				21	
		イ 子どもに対する地産地消の理解と利用の促進					
		ウ 青年期以降における地産地消の実践					
	3 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	ア 農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用				1	
		イ 食品関連事業者における食品廃棄物の削減					
		ウ フードバンク活動の普及啓発					
食育を支える取組	1 食育にかかる人材の育成と活動の充実	ア 保育・教育機関における推進体制の充実				11	
		イ 社会人を対象とした推進体制の充実					
		ウ 愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実					
		エ 食育に係る多様な人材の育成と活動の促進					
		オ 食育推進資材の作成や調査・検定の実施					
	2 関係者の役割分担とネットワークの充実	ア 地域食育推進支援会議の開催				10	
		イ 地域の活動主体同士の連携企画の促進					
		ウ 既存のネットワークを活用した関係者間の情報共有					
	3 いいともあいち運動の推進	ア 運動の認知度の向上				2	
イ 協働活動の充実							
ウ 県産農林水産物の利用拡大							

特集

あらゆる世代の県民が健全な食生活を送り、心身ともに健康で豊かに暮らすためには、生涯を通じた間断のない食育が重要です。しかし、特に20代～30代の若い世代については、朝食の欠食や栄養バランスの取れていない食事が目立つ状況にあります。

そこで、若い世代に向けた情報発信や若い世代と連携した取組を特集として紹介します。

あいち食育研究所（食育らぼ） 愛知から日本を健康にせよ！

- 食育実践・情報発信事業（緊急雇用創出事業基金事業） -

取組主体： 愛知県

実施時期： 平成24年11月～平成25年1月 **実施場所：** 県内

対象及び参加人数： 20代から30代の若い世代を中心とした県民

[取組の目的]

「食」の大切さの理解を深め、食育実践を促すことを目的とし、栄養の偏りや食習慣の乱れ等、食生活をめぐる課題を抱える若い世代に対して情報発信を行いました。

[取組の内容]

3ヶ月限定で「あいち食育研究所」、愛称「食育らぼ」をウェブサイト上に設立し、公募で選ばれた20代～30代の研究員が、県内の食育の取組や若い世代の食に関する考えについて情報を集めるとともに、自らも主体的な食育実践（イベント参加、施設見学、調理）にチャレンジしました。

そして、得た情報や実践の過程・効果をホームページ、ツイッター、フェイスブック等で発信しました。

[取組のポイント]

対象とする若い世代と同じ目線で情報発信するため、実際に同世代の研究員が活動しました。

情報発信では、親しみやすい文章や手書きのイラスト、写真、映像等を用い、研究員が食育活動に取り組む過程で感じた疑問や発見などを通じて、「食育」が身近なものであることを伝えました。

なお、情報発信のツールには、若い世代に利用が広がっているインターネットを積極的に活用し、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、動画コミュニティの生放送などにより、若い世代が手軽に情報を得られるようにしました。

[取組の成果]

ツイッターやフェイスブックには、日頃の食生活に対する感想、疑問など様々な意見が寄せられ、県内を中心とした若い世代に発信することができました。（ツイート数：2,450件、フォロワー数1,120件）

また、研究員の活動をまとめたノウハウ集『きょう、なに食べる？』を作成し、県の食育ポータルサイト「食育ネットあいち」（<http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>）に掲載しました。

食らば研究员：公募で選ばれた研究员（若い世代）

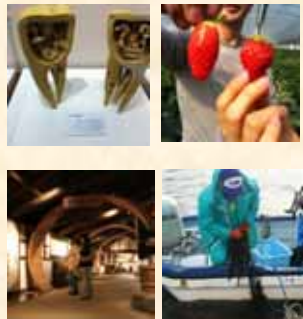


研究员が県内の食に関するイベントに参加、施設を見学、調理などの活動を実践

イベント参加、研究



施設見学



調理・実践



研究员の活動の様子を若い世代に向けて情報発



ホームページ



ツイッター



フェイスブック



ニコニコ生放送



テレビ放送



ノウハウ集

若い世代の食育実践・・・



僕もやってみよう



バランス
良くてね!

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	🏠 食育を支える取組	2 関係者の役割分担とネットワークの充実
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

若手職員によるバランスランチ新メニュー考案

取組主体: 大学生協東海事業連合

連携団体: 大学生協東海事業連合

実施時期: 平成 24 年 11 月 ~

実施場所: 各大学生協食堂

対象及び参加人数: 大学生協若手食堂職員 (6 名)

[取組の目的]

メニューを考案する上で大切にすべきことを学ぶ目的として、大学生協の食堂で働く若手職員(1-5年次)対象に東海地区の大学生協食堂店舗の多くで実施している「バランスランチ」のメニュー考案会を行いました。(平成24年11月上旬に合宿形式で実施)

[取組の内容]

メニューを作る上で「大切にすべきこと」に加えて、食育の実践として「バランスランチ」に限定してメニュー考案会を行いました。

「バランスランチ」というのは、1食で1日に必要な食事量と栄養素の約1/2~1/3が摂取できるメニューの事で、東海地区の大学生協食堂店舗で2008年9月から提供をしています。

<http://www.univcoop-tokai.jp/food/goodbrance.html>

今回は、若手職員同士の学び合いの位置づけから、参加者には事前に複数メニューを考えてきてもらい、皆に発表した後に厨房で調理をして参加者同士で品評し合いました。「どうしたら野菜を補えるのか」「もっと美味しそうに見えるにはどうしたらよいか」などと活発な意見交流がされました。

最終的には、1月からの新メニューとして3品を提供することになりました。また、1月に提供できなかったメニューは4月メニューとして提供しています。



1月~3月 新メニュー



チキンおろしカルパッチョ風



豆腐ハンバーグ和風ひじきあんかけ



豚肉の中華風甘酢あんかけ

4月~ 新メニュー

「豆腐ハンバーグ和風ひじきあんかけ」と差し替え



チキンと野菜のイタリアンソース

[取組のポイント]

残念ながら採用されなかったメニューや担当者もいましたが、出来上がったメニューを利用者にどのようにアピールするのかという点においても若手職員が主体的に考えました。

提供時期が年の変わり目ということもあり、「健康元年」というのも最初の候補に挙がりましたが、以前から健康提案は行っているということもあり、最終的には「2013 年もバランスランチでバランス食生活」というキャッチフレーズに決まりました。

バランスランチは通常日替わりで提供していますが、少しでも利用者の目に触れるようにしたいということで 2 週にわたって提供することになりました。

右の企画書は、調理担当の内部職員向けの内容になっていますが、下の「この企画提案にあたり伝えたい思い」という欄には若手職員の思いが込められています。

バランスランチで健康生活をはじめよう 企画
～2013年もバランスランチでバランス食生活!～

- ◆実施期間：第47週～年度末
*ただし47・48週(1/14(月)～25(金))については新メニュー強化週間と位置づけ新メニューの提供頻度が高くなるよう特別構成で実施します。
- ◆提案目的：改めてバランスランチの良さ・目的をアピールし伝えて、利用してもらおう。
□学生生活の基本を整えるためには、まず食事環境を整える。そのために1日に必要な食事量と栄養素の約1/2～1/3が摂れるバランスランチをオススメ。
□この時期に露出を多くして、今まで利用していない学生にも食べてもらう様に呼びかける。それが来年度の利用継続確保にもつながっていく。
- ◆提案内容：バランスランチにスポットをあてて拡販する。そのために47週に新メニューへ、新サイクルへの差し替えを行い、新ポスターなども掲示し、目立たせる。
□Aライン・Bラインともに提案、47週だけ行っても感想がつかうような企画提案になっているので、この時期に営業日が少ない店舗でもぜひ実施してほしい。

◆販出物
・ポスター (B2) 別ページ参照
・販出用POP (メニューカード・フライスに貼り付け用)

◆イメージ
*メニューカード・フライスカードは段階通りなので、そこに販出用POPをつけて、フェアメニューの様にアピールする。

この企画提案にあたり伝えたい思い。
・試験期間・最後の繁忙期で「普段来る機会の少ない人たちも来店する時期」そこへ生協のオススメをしっかりとアピールして、これからの、来年の利用につなげていきたい。だから忙しい中だけれどしっかりバランスランチを提供したい。

[取組の成果]

大学生協の食堂は短時間に多くのメニューを提供することが求められるため、盛り付けや調理工程の負担を軽減しながらメニューを考える必要がありますが、今回は食育の側面からバランスランチのメニューを考案することが目的だったため、不足しがちな栄養素(タンパク質など)や野菜量をどのように補うのかという点においても学ぶ機会になりました。

提供日	提供メニュー	提供数
1月15日(火)	豚肉の中華風甘酢あんかけ	新 348食
1月16日(水)	チキンおろしカルパッチョ風	新 590食
1月17日(木)	豆腐ハンバーグ和風ひじきあんかけ	新 421食
1月18日(金)	たっぷり野菜のチキンカツマリネ	308食
1月21日(月)	豚肉の中華風甘酢あんかけ	新 394食
1月22日(火)	豚肉と野菜の韓国風炒め	442食
1月23日(水)	チキンおろしカルパッチョ風	新 645食
1月24日(木)	鶏竜田揚げ彩りトマトソース	529食
1月25日(金)	豆腐ハンバーグ和風ひじきあんかけ	新 422食

販売結果の方は、全てとは言えませんがそれまで提供していたメニューよりも多く提供することができました。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて健康な体をつくるために	1 バランスのとれた規則正しい食生活の実践
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

産学官連携事業「朝食のすすめ」

取組主体: 安城市健康づくり食生活改善協
議会（ヘルスマイト）

連携団体: 商工会議所、大学、
市（農務課、健康推進課）

実施時期: 平成 24 年 10 月 20 日（土）
21 日（日）

実施場所: 青少年の家

対象及び参加人数: 安城市市制 60 周年記念事業 健康フェア参加者

[取組の目的]

健康日本 2 1 安城計画で、「朝食欠食をなくし、バランスのよい食事をとる」ことを目標としています。その取り組みのためにヘルスマイトは朝食試食会を実施していました。平成 24 年度は、ヘルスマイト、愛知学泉大学、商工会議所、市と産学官連携で、安城市市制 60 周年事業の健康フェアにおいて、朝食試食コーナーを行うこととなりました。



[取組の内容]

産学官連携事業として、商工会議所、愛知学泉大学、ヘルスマイト、市が協力して実施しました。愛知学泉大学の管理栄養士専攻 3 年生はメニューチーム、2 年生は食事バランスガイドチームになりました。

メニューチームには、簡単でおいしい朝食メニューの提案をしていただきました。また、食事バランスガイドチームには、だれでもわかる食事バランスガイドの説明方法を考えていただきました。

メニューチームから提案されたメニューは 40 種類以上あり、ヘルスマイトと検討と試作を重ねて 35 種類に厳選しました。

食事バランスガイドチームによる食事バランスガイドの説明は、学生が昔話の桃太郎を元にストーリーの原案を提案し、ヘルスマイトとストーリーや食事バランスガイドに使う食事モデルの内容について検討を繰り返しました。なお、食事バランスガイドの説明を身近なものにするために、学生がスーパーでのアンケートを行い、それを元に食事モデルを作成してペープサート「桃太郎と梨太郎」に取り入れました。



商工会議所には、ヘルスマイトと学生が検討した内容に対してアドバイスをするとともに、事業所へのレシピ集配布をしていただきました。

市はヘルスマイト、学生の活動支援と各団体との連絡調整をし、提案された内容をヘルスマイトと学生を含め、何度も検討しました。

そして、市制 60 周年記念事業の健康フェアにおいて、メニューチームは、朝食の必要性を説明し、簡単に作ることのできる朝食メニューの提案をするとともに、来場者に試食を配りました。

また、食事バランスガイドチームは、来場者にペープサート（紙人形）「桃太郎と梨太郎」の実演をしました。



[取組のポイント]

ヘルスメイト、学生、商工会議所、市がそれぞれの役割を果たして連携することで、普段なかなか取り組むことのできない内容や若い年代へ情報発信することができました。

[取組の成果]


今までヘルスメイトは同年代の食育団体と地産地消の紙芝居や地元の野菜を取り入れた試食会などの活動をしてきました。

しかし、今回のように学生や商工会議所など、今までにない若い年代や食育以外の団体と協力して活動することは初めてだったので、新鮮で楽しく活動できたようです。

また、学生は自分たちと同年代の人たちにどうしたら朝食を食べてもらえるのか、朝食の必要性を伝えることができるのかを考えることで、自分たちの食生活を振り返ることができたようです。

今まで幼稚園、保育園、小学校、中学校が主な活動場所でしたが、今回、学生と作成したメニューやペープサートを活用して高校、スーパー、事業所、イベントなどで、幅広い年代に食の大切さを広めていきたいと考えています。



【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	 食育を支える取組	2 関係者の役割分担とネットワークの充実
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		